



草の根金融研究所「くさのーね」ご案内

ソーシャルビジネス・NPO等の資金調達(融資、私募債、市民ファンド、補助金・助成金、クラウドファンディング、寄付/会費等)、ソーシャルファイナンス活用は、「くさのーね」にお任せください(初回相談無料)。

ご相談は メール:taga@e-mail.jp 電話:080-1142-3783

ごあいさつ



2016年4月、私こと多賀俊二が「草の根金融」の普及・発展に取り組むべく、独立開業してから、2年が経過しました。

2017年6月には進行直腸がんが見つかりましたが、2017年11月に手術し、2017年12月に無事退院することができました。このこともあり、この間事業開発がままならないところもありましたが、これからは、自主セミナーの再開や関係各方面との連携など、皆様に喜んでいただける事業を立案、実行する所存です。

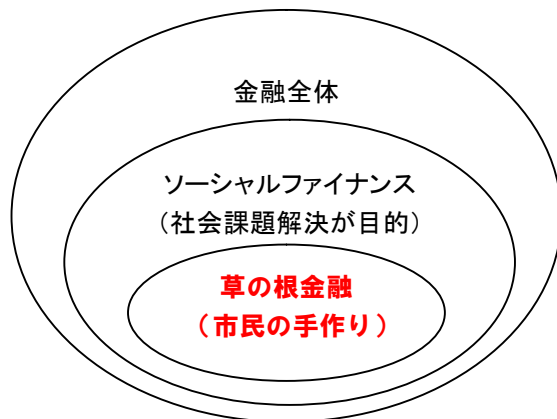
ここまでたどり着けたのも、多くの方々のご支援あつてのことです。今後も「くさのーね」のミッション・ビジョンを実現するため、粉骨砕身努力いたしますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

2018年5月

草の根金融コンサルタント・草の根金融研究所「くさのーね」代表 多賀俊二

「草の根金融」とは

草の根金融の概念図



定義：

「社会課題を解決するため、一般の人が行う手作り金融の営み」

具体例：

人々の出資をもとに、ソーシャルビジネスなどにお金を貸す「NPOバンク」

多重債務者等、生活困窮者に家計相談とセットで自立のための資金を貸す「生活再生ローン」

ソーシャルビジネスのために仲間からお金を借りる「市民債券」

ソーシャルビジネスのために仲間から出資を集める「(出資型)市民ファンド」

その他(ソーシャルインパクトボンド、クラウドファンディング等)

「くさのーね」のミッション・ビジョン

ミッション：

「経済・金融を草の根の人々本位につくりかえ、社会課題を解決する」

ビジョン：

- ① 草の根金融の活用を推進する
- ② 資金調達等の支援を通じ、ソーシャルビジネスの発展を支援する

「くさのーね」名称の由来:草の根の人々と共に歩む意思を表現するため、漢語・造語・横文字を避け、ふんわりしたイメージの名称にした。

事業案内：このようにお役にたちます

※下記は一例です。「多賀にこんなことを頼んでみたい」とお考えの際は、お気軽にご相談ください。

ソーシャルビジネス・NPO等の資金調達支援

ソーシャルビジネス・NPO等の事業資金調達について、幅広く支援いたします。

具体的には、各事業者様からのご相談に応じて、融資、少人数私募債、疑似私募債、市民ファンド、補助金、助成金、クラウドファンディング、寄付、会費など、各種資金調達手法のうち、事業者様の経営課題解決にもっとも適切な手法についてご提案します。そのうえで、これら手法を用いた資金調達を円滑にするため、心づくしの支援を行います。

(例)

資金調達手法	具体的な支援手法の例
融資	適切な金融機関・融資制度等選択のアドバイス、事業計画作成支援等
補助金	適切な補助金選択のアドバイス、補助金申請書類作成支援、補助金承認後の各種事務支援、関連する各種経営計画(「経営革新計画」「経営力向上計画」)作成支援等
会費	会費制度設計のアドバイス、マンスリーサポーター導入支援等

さらに、資金調達後、調達した資金を各事業者様の経営革新に役立てるためのフォローアップも行います。

(ご支援は貸金業法・金融商品取引法など、各種法令の範囲で行います)

ソーシャルファイナンス活用支援

ソーシャルビジネス・NPO等の課題を解決するうえで、例えば生活困窮者支援の際に少額の貸付制度を導入することをはじめ、金融というツールが役立つ場面は大きいと思います。こうした点で、「この社会課題解決に金融は使えないか?」などとお悩みの際はお声掛けください。課題を整理し、適切な金融手法を提案し、法令の範囲で導入支援を行います。

草の根金融に関する事業開発

NPOバンクなど、草の根金融事業を新しく立ち上げようとする事業者に対しては、その志が現実化するよう、全力で支援を行います。また、社会課題解決に有用な、ソーシャルファイナンス・草の根金融の斬新な手法及びその事業化についても、仲間とともに取り組みます。

草の根金融に関する自主セミナー・調査研究

ソーシャルファイナンス・草の根金融や関連のタイムリーなテーマを取り上げるほか、初心者向け・実務者向け等、さまざまな自主セミナーを開催します。

過去開催テーマ(一部)：

「草の根金融の志を語る」

「KIBOW 社会投資-ソーシャルベンチャーキャピタルとして-」

「ソーシャルインパクトボンド活用可能性体験ワーク」

また今後は、草の根金融に関する調査研究として、研究会開催、各種取材活動も展望します。

講演・パネリスト・ファシリテーター・執筆・研究会委員等

NPO・ソーシャルビジネスの資金調達、ソーシャルファイナンス等に関する講演、シンポジウム等のパネリスト、ワークショップのファシリテーター、各種執筆、研究会委員等をお受けいたします。

テーマ例(ご相談ください)：

・ソーシャルファイナンス入門

・ソーシャルビジネスの資金調達が全部わかる講座

・ソーシャルなあなたのための金融入門

・市民債券(または市民ファンド)徹底解説

・社会起業を支える手作りファンディング等

その他(各種経営支援・ご相談等)

その他、ソーシャルビジネス・NPO等の経営課題についてお悩みの際は、お気軽にご相談ください。ご相談内容を切り分けたいうえで、他のコンサルタント・土業との連携も含め、適切な支援を行います。

お声掛けください&相談させていただきます

草の根金融の事業者・実践者・創業希望者の方

お手伝いさせていただきます。

困難が伴いがちな草の根金融の事業を全力でサポートしますので、ともに経営課題を解決し、社会に役立つ金融事業を創造しましょう。また、特にソーシャルファイナンス分野での創業をお考えの方は、持てる力を振り絞って応援しますので、ともに頑張りましょう。

NPO・ソーシャルビジネス事業者の方

お気軽にご相談ください。

資金調達に関する課題はもとより、資金調達の向こう側にある経営課題も、ともに解決しましょう。また、今後 NPO やソーシャルビジネスが直面すると思われる高度な経営課題(経営革新、事業承継、事業再生、M&A、転廃業等)についても、解決のお手伝いをさせていただければと思います。

NPO・ソーシャルビジネス(ファイナンス)関係のコンサルティング・中間支援団体の方 連携のご相談をさせていただきます。

皆様は当「くさのーね」とは同業者とはなりませんが、競合ではなく協働して、ソーシャルビジネスやソーシャルファイナンスに関するコンサルティング市場のパイを広げましょう。また、コンサルティング実務で、資金調達やファイナンス面でのサポートが必要な場合は、特にお役にたてると思います。今後、各団体の皆様に、可能な限りご挨拶に伺いたいと思いますので、ともに何ができるか、ご相談させていただけると幸いです。

金融機関・行政・財団・研究機関・シンクタンク等の方

ソーシャルファイナンスの活用を共に考えましょう。

金融機関における CSR、行政における地域活性化やセーフティネットの拡充、財団における資金の有効活用など、皆様抱える課題を解決する上で、ソーシャルファイナンスが有効なツールとなる局面はきっとあると思います。まずは、どのようにソーシャルファイナンスを活用できるか、ともに検討する機会をいただけると幸いです。

各種サービス料金の目安

- ※ 以下は財政規模の小さな NPO・ソーシャルビジネス組織からの依頼を想定した料金です(源泉徴収分除く)。企業・各種団体からのご依頼については、割増料金をお願いすることがあります(ご相談ください)。
- ※ サービスに付随する打ち合わせ等につきましては原則として無料です。
- ※ 各種費用(交通費、宿泊費、取材費用等)は原則として別途ご負担願います。
- ※ 別途報酬体系がある場合(行政、大学等)、予算に限りがある場合、ご遠方の場合等は、ご遠慮なくご相談ください。
- ※ 本料金体系は今後変更することがあります。

資金調達支援	(融資・私募債等)融資金額の 3% (その他(補助金・会費等)着手金 20,000 円+調達金額の 10%程度(内容により応相談))
事業計画作成支援	350,000 円(内容により応相談)
各種ご相談	1 回 20,000 円(1.5 時間~2 時間の面談を想定: 初回相談無料)
講演・ファシリテーター等	1 回 40,000 円(質疑応答を含め 2 時間程度の講演を想定) 長時間・複数回の講演等は、上記を基準に時間・回数等を考えて調整しましょう。 財政事情により、歩合制(参加費収入の〇〇%とすること等も可能です)。
パネリスト	1 回 30,000 円(パネルディスカッション登壇で、パネリストからの報告が 20 分程度のもの) 実質的に講演となる場合は、「講演」の料金をいただきます。
コンサルティング(顧問)	月 40,000 円(月 1 回、2 時間程度の面談と電話、メール等による随時サポートを想定) 上記を最低基準とし、拘束時間と業務内容等によって調整しましょう。 財政事情により、一部成功報酬制とすること等も可能です。
執筆	1,500 円/200 字を基準に、内容により調整しましょう。
その他	調査研究・政策プロジェクト等の委員となる場合、1 回の会合出席につき 20,000 円 (プロジェクトの中で講演・報告書執筆等を行う場合、別途料金をいただきます)

多賀俊二のプロフィール



草の根金融(社会課題を解決するため、一般の人が行う手作り金融の営み)を専門とする金融コンサルタント。中小企業診断士(東京協会三多摩支部所属)、准認定ファンドレイザー、貸金業務取扱主任者。

一般社団法人ソーシャルビジネス・コンサルタントグループ 代表理事。

早稲田大学ファイナンス研究科専門職学位課程修了(ファイナンス修士)。

広島出身の 52 歳。金融機関の業界団体での 25 年間の勤務を経て、2016 年 4 月独立。

2005 年より全国NPOバンク連絡会の事務局(2010 年 7 月より常任理事)を務める等、長期にわたってソーシャルファイナンスの前線で活動。NPO界最大級のイベント「ファンドレイジング・日本」に3年連続登壇(2013-2015年)し、金融専門誌に執筆する等、ソーシャルファイナンスに関する講演・執筆・支援等の実績多数。静岡英和学院大学短期大学部非常勤講師(2016年・2017・2018年、「地域金融論」)。

最近の登壇実績：

・講演「世紀を超える志金のカ～地域に志金循環を起こす意義と課題～(2018年2月11日、結イレブン vol.50 特別篇)

・講演「日本におけるソーシャルファイナンス手法」(2016年7月23日、第2回ソーシャル・ファイナンス研究会)

・パネリスト・分科会講師「NPOのお金の現状」(2016年11月26日、宮城県(みやぎNPOプラザ)主催「みやぎNPOプラザ開館15周年フォーラム『市民社会への創造～未来を拓くNPOであるために』」)

近著：

「地方創生とエネルギーミックスーエコシティ、スマートシティの活用事例」(2016年、同友館、編著者：波形克彦・小林勇治、第5章「地域のエネルギーミックス 市民発電事業の進め方」を担当)

「ソーシャルファイナンスの現状と信用組合への期待」(全国信用組合中央協会「しんくみ」2018年1月号より連載中)

当面の予定

2018年5月	「草の根金融の志を語る2018」セミナー開催予定
2018年6月～	自主セミナー再開予定

ご連絡先

(事務所) 〒104-0061 東京都中央区銀座8-16-10 中銀本社ビル8F イノベーションオフィス銀座内
携帯:080-1142-3783 E-mail taga@e-mail.jp

「多賀俊二メールニュース」情報配信中！(登録ご希望の方は上記メールアドレスまで)

多賀俊二ホームページ <http://tagashunji.net/>

facebook ページ <https://www.facebook.com/kusanohne/>

多賀俊二Twitter: @taga_npobank フォロー歓迎！

